

予習確認プリント

学年：_____ 学籍番号：_____ 名前：_____

・騒音計の「周波数補正」とはどのようなものですか？なぜ補正を行うのですか？

・室内騒音の許容値はどのように評価されますか（どのような指標を用いますか）？

・騒音対策にはどのようなものがありますか？できるだけ沢山挙げてください。

・振動とはどのようなものですか？

※予習の段階に比べて、授業を聞き終わった段階では、何がわかりましたか？

4 騒音と振動 (教科書 pp. 131~134)

1 騒音 (教科書 pp. 131~133)

1-3 騒音対策 (教科書 p. 133)

「騒音に係る環境基準 (教科書 p. 133)」についての補足

一般騒音や航空機騒音などの環境基準については、時々改訂があるので、環境省のホームページなどで確認すること。

- ・騒音に係る環境基準について

(平成 10 年 9 月 30 日環告 64 改正 平成 24 年 3 月 30 日環告 54)

<http://www.env.go.jp/kijun/oto1-1.html>

- ・航空機騒音に係る環境基準について

(昭和 48. 12. 27 環境庁告示第 154 号 改正 平 19 環告 114)

<http://www.env.go.jp/kijun/oto2.html>

- ・新幹線鉄道騒音に係る環境基準について

(昭和 50. 7. 29 環境庁告示第 46 号 改正 平 12 環告 78)

<http://www.env.go.jp/kijun/oto3.html>

「2 振動 (教科書 p. 134)」についての補足

振動の測定

振動の測定には、下図のような振動レベル計が使われる。

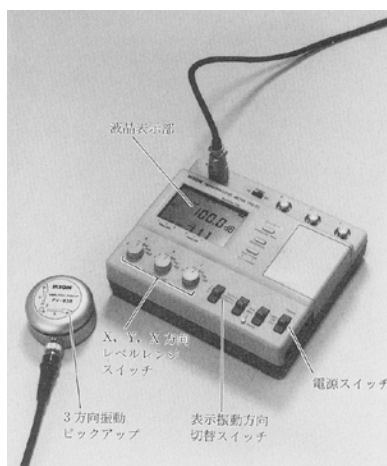


図 振動レベル計と振動ピックアップ (出典：参考文献 [1], p. 152)

「2-1 振動による騒音 (教科書 p.134)」についての補足
防振対策

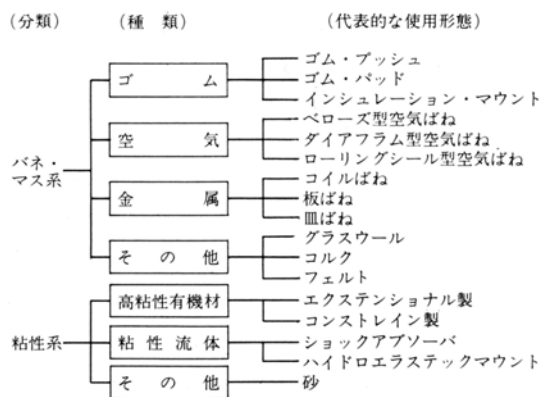


図 防振材料の種類と使用形態 (出典: 参考文献 [2], p.205)

【参考文献】(順に, タイトル, 編著者名, 出版社, 発行年月, 価格, ISBN。[] 内は熊本県立大学学術情報メディアセンター図書館所蔵情報。)

[1]『初めての建築環境』(〈建築のテキスト〉編集委員会編, 学芸出版社, 1996年11月, ¥2,800 + 税, ISBN: 4-7615-2162-7) [和書 (2F), 525.1||Ke 41, 0000216585, 0000216586]
→改訂版もあり (2014年11月, ISBN: 978-4-7615-2581-1) [和書 (2F), 525||Ke 41, 0000367191]

[2]『環境工学教科書 第二版』(環境工学教科書研究会編著, 彰国社, 2000年8月, ¥3,500 + 税, ISBN: 4-395-00516-0) [開架2, 525.1||Ka 56, 0000275620, 0000308034]

学年：_____ 学籍番号：_____ 名前：_____

【演習問題】

ある場所の騒音について、音圧レベルを中心周波数 125Hz から 4,000Hz の 6 つの 1/1 オクターブバンドについて調べたところ、125Hz で 60dB, 250Hz で 60dB, 500Hz で 62dB, 1,000Hz で 50dB, 2,000Hz で 40dB, 4,000Hz で 45dB であった。この時、NC 値はいくらか。教科書 p.132 の図を用いて、答えよ。